

# 定期巡回第 1 回運営推進会議 議事録

2021 年度 第 1 回

開催日	2021 年 11 月 13 日 (土) 10:00~11:00	場所	霞ヶ関在宅リハビリテ ーションセンター	議長	松本
出席者	霞ヶ関地区民児協 1 名 霞ヶ関南病院 1 名 笠幡病院 1 名 地域包括支援センターかすみ 1 名 地域包括支援センターだいとう 1 名 居宅介護支援事業所しんしあ 1 名 居宅介護支援事業所真寿園 1 名 定巡利用者ご家族 2 名 定期巡回コール：松本、島田 ※敬称略				

議事内容（記載者：島田 ）

○挨拶・自己紹介

○訪問実施状況の報告（資料）

- ・利用者数増加している。現在の利用者数 22 名。スタッフの人数も限られているので、積極的に新規を受けると難しいが、相談があれば、その都度、調整している。
- ・訪問状況：日中 6 割、夜間 4 割。ひと月の訪問件数 2000 件超えている。

○リスク報告

- ・ 随時訪問が増えている。定期訪問以外に随時訪問があった場合、抜けてしまうことがある。もともとスケジュールはダブルチェックでおこなっているが、再度ダブルチェックを徹底している。
- ・ 貼り薬の交換時、前のものをはがし忘れて新しいものを貼ってしまった。再発防止として、はがした貼り薬をノートに貼ることをしている。
- ・ コロナが落ち着いてから、交通量が増えている。ヒヤットする場面があるので、安全運転を心がけています。

○感染症対策の報告

新型コロナウイルス感染症対策：安心して利用してもらえるような工夫

- ・ 出勤前の体調確認と検温、訪問ごとに予防着、手袋、マスク等の着用を徹底し、手指の消毒・手洗い、衣類消毒スプレー噴霧及び移動時に使用する車の消毒の徹底を図っている。
- ・ 利用者宅において、お知らせを何度か配布し利用者及びご家族の体調不良時の事前連絡、旅行や大人数での会食の有無などの情報収集に努め、個別での相談や対応をしている。
- ・ 発熱した利用者へはできるだけ同じ職員の対応と、発熱利用者を介護した職員は一度シャワーを浴びて制服を交換し、次の訪問へ行くこととしている。利用者の発熱の要因をできるだけ細かく把握し、医療職と連携、必要時は PCR 検査を依頼するなど早期対応をしている。ご家族の協力は今後も必須となるため、その都度お願いをしていく。

### ○新規事例報告①

【基本情報】 妻と二人暮らし 要介護5 頸髄損傷 後縦靭帯硬化症

【サービス内容】 モーニングケア・イブニングケア・バルーンの排尿破棄・リフター移乗介助

【定期訪問予定】 毎日 7:00-7:30 14:00-14:15 17:00-17:15 21:00-21:30

【状況と問題点】 意識明瞭、病識薄く1人でできると頑張ってしまうが実際は介助がないと難しい。介護者の妻は病弱なのだが、夫ができることを信じており、なんでも二人で行おうとしてしまう。

【対応】 実際に生活してから問題点を妻と本人と共有していくことから始めた。思い描く介護と実際の介護では大きく違うこともあることを前向きに受け止められるように、何度も相談を重ねた。ご夫婦がどう暮らしていきたいのかを第一に考えて訪問を組み込み、問題が生じれば早期に対応を行うことで、現在はご夫婦笑顔多く暮らせている。

### ○新規事例報告②

【基本情報】 一人暮らし 要介護2 認知症

【サービス内容】 安否確認、健康確認、生活状況の把握及び必要なケア、服薬確認

【定期訪問予定】 毎日 8:45-9:00 16:45-17:00

【状況と問題点】 認知症の症状が攻撃的な発言や徘徊などのため、本人が介護保険でのサービスを受け入れやすいような工夫が求められた。

【対応】 認知症による症状を理解するために短時間での生活リズムの把握から初めて、時間帯によって徘徊が目立つことや、何に不安を覚えているのかを把握した。定期的な訪問時間を日の出とともに修正し、夏時間や冬時間での対応をすることで徘徊が減り、介護サービスへの受け入れも良好となっている。認知症の症状は進行しており、いつまでご自宅で過ごせるかはご家族と話合っているところである。

### ○新規事例報告③

【基本情報】 ご家族と同居、要介護5 難病

【サービス内容】 体調観察、排泄介助及び清潔保持

【定期訪問予定】 毎日 10:00-10:50 13:30-14:00 20:00-20:30

【状況と問題点】 大学病院に入院中、自宅での看取りを希望されて退院となったが、感染症により面会もできず、どのような状態で退院してくるのか全く分からないままで開始となった。

【対応】 在宅酸素や点滴など医療必要度が高く看護師も毎日の訪問となっており、医療優先でのスケジュールで対応を開始した。ご家族の仕事へ行くタイミングや、本人が来てほしいタイミングなど何度も調整を重ねていった。看護師や主治医と状態悪化時の連絡方法、緊急時対応も確認、本人がどう過ごしたいかを最も大切に考え、ご家族とともに2か月間の暮らしを支えた。

### ○情報交換

2022年3月より川越市の定期巡回事業所追加 たかしな

- 松本より民生委員さんへ…認知症の方が増えている。徘徊の方への対応がコールスタッフ難しいことが多い。民生委員さんたちのご協力をお願いします。地域の民生委員がわからない時は地域包括支援センターへ確認。
- 笠幡病院…在宅に向けての退院が少なく、相談する機会がなかった。本日聞いたようなケースがあった時に相談できる先がある。と情報を把握できて良かった。

- ご家族…いつもお世話になっております。助けていただき、ありがとうございます。  
どんな活動をしているのか、知りたかった。参加できて良かった。
- かすみ…コロナ禍で中止していた、オレンジカフェや認知症予防教室など事業が始まった。チラシ等の参照をしていただければと思います。
- だいとう…認知症サポーター養成講座など、開催予定があります。  
新規事例報告③の方のような、入院中コロナで面会できず、在宅を選ぶケースの相談ある。定期巡回を活用出来れば。と思いました。

○次回開催について

2022年3月12日（土）10：00～11：00

霞ヶ関在宅リハビリテーションセンター 2階会議室にて